

令和4年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間) 最終)

昭和中学校区 校番 24 学校名 呉市立昭和中央小学校

重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
確かな学力	学力の向上を図る。	基礎学力の定着 ICT教育の推進 【貫】 授業改善 「聴いて考えてつなげる授業づくり」 家庭学習の定着	<p>○基礎的な学力は、授業だけでなく、帯タイムなどにも繰り返し課題に取り組ませることで、力が高まってきた学年が多い。</p> <p>●4, 5, 6年生の算数科単元テスト平均点80点以上の児童の割合が低い。</p> <p>●活用問題(思考力・判断力・表現力の課題)の題意を読み取ることが不十分である。</p> <p>○積極的にタブレットを活用した授業を行うことができた。</p> <p>●教師、児童ともにICTの使い方に差がある。</p> <p>○「昭和学びのスタイル」について前学年からの定着があり、友達の考えをよく聴いて学習しようとする児童が増えた。</p> <p>●「自分の考えを伝えることができる」児童が86%で、自分の考えに自信がない児童が見られる。合わせてコロナの影響で、児童同士の相談・確認タイムといった学び合いの場の設定ができにくく、考えて深めていく学習は十分できていない。</p> <p>○家庭学習は92%でほぼ定着してきた。</p> <p>●家庭学習における児童の意欲の向上と学習内容の充実である。</p>	<p>・チャレンジタイムの充実を図る。</p> <p>算数科では、既習事項の定着(ドリル等)だけでなく、活用問題(過去のテストの裏問題等)にチャレンジさせる。</p> <p>国語科では、ドリル付属の漢字問題や読み物問題で習熟を図る。</p> <p>・授業で力をつける。</p> <p>自分の考えをもとに、考えを選択したり、伝えたりする力を付ける。</p> <p>・情報収集力を高めたり、課題解決に向けて有効な思考ツールを選択させたりするなど、ICT活用スキルを身に付けさせる。</p> <p>・授業において、特に「昭和学びのスタイル」の「気付きをもたせる」「相談・確認タイム」の充実を図る。児童が自信をもって考えを伝え、友達と考えを深めていくために必要なスキル(比べる、つなぐなど)を身に付けさせる。</p> <p>・家庭学習において、学習内容のモデルを示したり、学習時間や内容など自ら学習計画を立てさせたりすることで、自己学習能力を高めさせる。合わせて家庭との連携を図っていく。</p>
豊かな心	自己肯定感の向上を図る。	ルールやマナー等規範意識を身に付ける指導の徹底 【貫】 思いやりの心を高め、みんながほっとする学級集団づくり(あたたかい集団づくり)	<p>○挨拶は、個人差があるが、する人が少しずつ増えてきた。</p> <p>○休憩時間の終わりの移動は、周りを見ながら行動する児童が増えてきた。</p> <p>●教師から挨拶をすれば返すことができるが、自分から挨拶することができない児童がいる。</p> <p>●個人差はあるが、整理整頓ができていない。</p> <p>○授業の中では、あたたかな聴き方・やさしい話し方を示しながら進めているので、できている児童が多い。</p> <p>●授業中は良いが普段の言葉使いは、課題である。</p> <p>●各学年、自己肯定感の低い児童が固定化している。</p>	<p>・挨拶については、毎日、教師が声掛けを行ったり、振り返りの時間を取って確認したりしていく。</p> <p>・整理整頓については、どこに何を置くのかを示す。また、収納が少ないので特別教室等を利用する等して工夫していく。</p> <p>・話し方については、教師が声掛けを行ったり、やさしい話し方ができているとき、その場で評価したりする。</p> <p>・自己肯定感を高めていくために、日頃から教師が小さなことでも良いところを知らせる。また、一人一人の価値を高めていくために、もっと実感していけるようにどういうことが相手を確認することなのか、自分を高めることなのかを教師が示していく。</p>
健やかな体	基本的生活習慣の確立と体力の向上を図る。	安全(防災)に対する意識の向上 望ましい生活リズムの育成	<p>○全学年、防災士による防災学習を実施した。</p> <p>○●生徒指導部と連携を図り、1学期の生活目標に右側歩行を設定した。右側歩行を心掛ける児童もいるが、まだ徹底はできていない。</p> <p>○朝会で朝食摂取の啓発や、生活リズムを整える大切さを伝えた。</p> <p>○きらいき健康週間の取組内容を見直し、取り組みやすくした。</p> <p>●生活リズムに課題がある児童が固定化している。</p>	<p>・朝会や学級指導の中で引き続き右側歩行について指導する。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭による、生活リズムや食育に関する指導を継続する。</p> <p>・ICTを活用して、朝ごはんレシピを作るなど家庭での実践を充実させる。</p>
業務改善	教職員の健康を守り、研鑽時間を確保して、授業力向上を図る。	業務の改善を図るとともに、業務改善への教職員の意識改革を図る。	<p>○ICT活用の推進により、業務の効率化を図ることができた。</p> <p>●教材研究や授業準備は業務時間外で行うことが多い。</p>	<p>・タブレットを活用して、教材の共有や授業研究など学習指導における情報の共有化を進めていく。</p>